

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	癒しの森Kidsわかえ		
○保護者評価実施期間	7年 3月 10日 ～ 7年 3月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	7年 3月 10日 ～ 7年 3月 24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの内容の豊富さ	未就学児から高校性までもが楽しめるプログラムやレクリエーションを実施している。又、必要に応じてグループ分けを行い小集団の活動も行っている。	保育所や幼稚園での様子をお聞きし、事業所では見えなかった部分を把握し活動の中に反映させている。例として、幼稚園で取り組んでいるダンス、得意なスポーツなどを組み込んでいく。
2	思いっきり身体を動かせる広いスペース	未就学児に合わせたサーキット遊びや、なわとび、かけっこなど体を大きく動かした運動を行う。	小学生たちとのボール遊びや鬼ごっこなど、これから就学したときに経験するであろう運動を早くから行うことにより、ルールを学んだり、スムーズに取り組んでいけるようにしている。
3	幅広い異年齢児との交流	できるだけ全年齢一緒に活動している。一緒に活動することにより、年齢の高い子は小さい子に対する思いやりのある接し方を学び、年齢の低い子は年上の子たちから様々な言動による刺激を受けることができる。	就学後の友だち関係を構築するうえで、大切な挨拶や話しかけ方、相手の気持ちを考えた会話ができるように取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNS・ホームページの存在や家族交流の場を設けているのに、あまり認知されていない。	毎月発行しているおたよりや行事予定表などでお知らせしているが、しっかりと中身まで把握されていない。	新しい告知の方法として、アプリの導入などを考えている。
2	保護者とのアナログ対応	保護者との連絡ツールとして連絡ノートを用いているが、写真が欲しいとの要望が度々あり、それに対応できていない。	アプリなどの導入を検討していきたい。
3			